

時代を聖書で見る⑭

真の賛美と礼拝への招き

- ①私たちが見るべきもの:玉座に座すその方
- ②天の門は開かれている:霊に満たされること→玉座が見える(創世記28:12;エゼキエル1:1;使徒7:55;);私たちには天の至聖所に至る道が開かれ(ヘブル10:20)、まことの門がおられ(ヨハネ10:9)、まことの大祭司がおられる(ヘブル3:1)
- ③碧玉(透明でみどり=いのちの象徴=神の栄光、21:11)、赤メノウ(赤色=贖い=子羊の血)→旧約の大祭司の胸当ては赤メノウから始まり、碧玉で終わる(出エジプト28:17-20)
- ④エメラルド(緑玉)の虹(緑は生命の象徴、虹はノア契約;創世記9:9-16)
- ⑤24人の長老たちの座:24=2×12(永遠の統治の完成;マタイ19:28)
- ⑥ガラスの海(15:2):火による裁き→ガラスのように透明
- ⑦4つの生き物:ライオン、若い雄牛、人間、鷲(cf.エゼキエル1:10)→這う物(蛇の象徴)と海の物(死の象徴、20:13)が排除されている;贖われた全被造物の象徴またキリストの4面(王、犠牲、人、上げられた者)
- ⑧賛美と礼拝の光景:長老たちは自分の冠を投げ出し「あなたこそ・・・!」→今の私たちの賛美と礼拝はこの天の光景の前味わい
- ⑨真の礼拝は神の裁きと主権に服することから!